

## 平成31年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

## 成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	説明文において、文章と図を関係付けて内容を正しく読み取ることができる。
	社会	学校のまわりや市の様子について、地図から情報を読み取ることができる。
	算数	大きい数、小数、分数の計算する力が付いてきている。
	理科	植物や昆虫の育ち方について、よく理解している。
	学習状況	授業の中でめあてやまとめが共有できており、授業内容をよく理解している。
第5学年	国語	叙述に即して読んだり、書くことに必要な資料を適切に選んだりすることができる。
	社会	岡山県や岡山市の位置を理解している。
	算数	資料の整理、変わり方、計算のきまりを理解している。
	理科	空気はあたためられると体積が大きくなり、冷やされると小さくなることを理解している。
	学習状況	家で計画を立てて勉強することができ、勉強したことが将来役に立つと思っている。

## 課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	物語の登場人物の気持ちを読むことや学年配当漢字を書くことに課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科においては、説明文での「文章と図を関係付けながら読む」力を生かしながら、物語文で「言葉と関係付けて読む力」を伸ばしていきたい。同時に、漢字の書きやことわざの意味といった言葉の学習も授業に位置付けて根気よく取り組ませていきたい。</li> <li>・社会科では、資料から読み取ったことを正しく活用することに課題がある。資料から得た知識を活用するためには、どんなことが分かったのか書き、それを相手に伝え合う活動を授業の中に位置付けるようにしていきたい。</li> <li>・算数科では既習のわり算の意味をより確かにしていくとともに、分けることのイメージを児童一人一人がしっかりともてるような、具体的な操作活動を中心とした授業を工夫したい。</li> <li>・理科で活用する計器についての知識を正しく活用することに課題があるため、できるだけ一人一人が実験器具や計器に触れることのできる時間や機会を確保するようにする。</li> <li>・学習状況については、家庭学習の手引きを使ったり、よい自主学習の例を提示したりしながら、授業の復習をしようとする意欲を高めたい。</li> </ul>
	社会	岡山市の地図から読み取った情報を生かすことに課題がある。	
	算数	あまりがあるわり算の答えを問題の条件にそって求め、説明する力に課題がある。	
	理科	はかりを活用して正しく数値を読み取ることに課題がある。	
	学習状況	「家で、学校の授業の復習をしている」と答えた児童が市平均より少ない。	
第5学年	国語	段落相互の関係から要旨を捉えたり、場面の移り変わりの中で人物の心情等を読み深めたりする力に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科においては、叙述に即して読む力に優れており、意欲的に言葉に反応する。しかし、言葉と言葉、場面や段落相互の関係から文意を捉えようとする力がまだまだ弱い。複数の情報を関係付けながら読み深める技能を育て位置付ける学習を大切にしていきたい。</li> <li>・社会科では、理解したことを言葉で表現できるようにするために、授業で学んだ大切な言葉を使って、簡潔にまとめる活動を取り入れていく。また、意見交流する場面を設定することで、表現の仕方の違いを知り、活用することができるようにしたい。</li> <li>・算数科では、○や△といった抽象的な文字を使った式のよさを実感できる場を設定するようにする。</li> <li>・理科で、水が温度変化によって姿が変わることが理解できていないため、複数のパターンで現象が見れるようにしたり、生活の中で見られる現象を提示したりして、理解できるようにする。</li> <li>・学習状況については、発達段階に応じて文の書き方を丁寧に指導したり、授業や家庭学習の中で文を書く機会を増やしたりすることで、自信をつけさせたい。</li> </ul>
	社会	県の様子について、資料をもとに適切な言葉を使って説明することに課題がある。	
	算数	変化のきまりに着目して数を求めたり、求め方を言葉や表、数などを使って説明する力に課題がある。	
	理科	水の状態変化についての理解に課題がある。	
	学習状況	「自分で考えて、感想文や作文を書く」ことに抵抗のある児童が多く、市平均とほぼ同じである。	

【保護者・学区の方へのお願い】

4・5学年とも授業内容がよく分かると答えている児童の割合が高く、各教科において、ほぼすべての領域・観点で市平均得点を上回っていました。「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童の割合も高いことから、ご家庭でご協力くださっている様子が伺えます。平日、1時間以上ゲームをしている児童が4割以上、また、2時間以上している児童も2割を超えているため、ノーメディア週間の取組と結び付けながら指導していきたいと考えております。よろしくお願いたします。